

科目名 産業経営経済学特論演習(二) (4単位)

担当者氏名 菊地哲夫・美土路知之

◆学習・教育目標

産業経営経済学特論演習(二)は、産業経営経済学特論(二)の講義を踏まえて、先行研究の蓄積に分け入り新しい研究の視座の獲得をはかるとともに、得られた視座をもってオホーツク地域にかかわって実証研究をも併せておこない、自立的な研究能力の育成を到達目標とする。テーマは「産業・地域政策の展開と地域産業経営の課題」とする。授業計画としてはまず大きく産業政策の研究動向、地域政策の研究動向をフォローしたのち、北海道における産業政策・地域政策の特殊性を把握する。そしてそれらを踏まえオホーツク地域における最大の問題点とされる流通に焦点を合わせて実態調査をおこなう。

◆取り扱う領域(キーワードで記載)

産業政策	構造特区	市場機構	流通
地域産業経営	地域経済振興		

◆授業の進行等について(単位制度に基づく授業の進行予定・内容)

回数	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1-7回	戦後日本における地域政策の研究動向 (担当 菊地哲夫)	①構造特区以前の研究動向 ②構造特区以降の研究動向	戦後、とりわけ構造特区以前と以降に区分して地域政策の研究動向を学ぶ
8-15回	オホーツク地域の地域経営の実態調査 (担当 菊地哲夫)	①地域生産物流通の現状と諸問題 ②品目別の市場機構と流通の現状と諸問題	オホーツク地域の地域経営を対象に、市場流通を含めた実態調査を行い、現状と諸問題を学ぶ。
16-22回	北海道における地域産業経営の研究動向 (担当 美土路知之)	①北海道経済の特質と地域産業の現状 ②地域再生と道内圏域別(道央・道南・道北・道東)の産業振興の特徴と課題 ③北海道庁の地域振興諸施策の展開 ④地域住民による「草の根」からの連携への取り組み	北海道における地域産業経営について、いくつかの地域区分を行い、産業政策・地域政策とその特殊性を学ぶ。
23-30回	地域ビジネスの推進者(仕掛け人たち) (担当 美土路知之)	①小麦のフードシステムと「麦チェン」を担う製粉会社 ②「フードバレー」構想の推進とコーディネートする地域金融機関 ③圃場から食卓までを精密農業から発信するIT企業 ④オーガニックなハーブビジネスを健康産業に地域連携の新分野開拓	北海道内の地域ビジネス展開を担う代表企業の事例検証から産業経営の役割と可能性を探る。

◆教科書及び資料(授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所(発行年)

『ベンチャー支援と地域経済振興』/田中利彦/晃洋書房(2004年)

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所(発行年)

講義の際に指示する。

◆評価の方法(レポート・小テスト・定期試験・課題等のウェイト)

レポート及び討論の参加状況で評価する。

◆その他受講上の注意事項
